

# リスク評価基準

## 評価手順

(1) ケガ/疾病の可能性の度合

	可能性
6	・非常に高い
4	・高い
2	・低い
1	・ほとんどない

(2) 重大性

	ケガ/疾病の大きさ
4	・致命傷 (重篤な災害、死亡災害)
3	・重傷(休業)
2	・軽傷
1	・微傷(アカチン災害)

◎ 部門長は、安全部長と協議し、リスクレベルD (リスク評価点8以上)/重大なリスクについては、目標設定の際に確実に考慮する。

◎ 作業所長は、作業の実施に際し、工事部作成のリスク評価表を考慮し、「危険予知活動」/日報のリスク評価結果が受容可能/許容可能なリスクになっていることを確認する。

◎ 残留リスクについては、必要に応じて、作業手順書等を策定し、作業者に周知徹底する。

◎ 部門長は毎年4月に評価表をレビューし最新の状態を維持する。

リスクレベル	評価点合計	評価/優先度	措置基準
D	8~10	重大な問題がある	即座に対策を講ずる 効果的なリスク低減措置を確実に実施する
C	7	問題がある	低減措置を速やかに行う
B	4~6	多少の問題がある	低減措置を計画的に行う
A	3以下	ほとんどない	現状維持(受容可能なリスク/許容可能なリスク)

◎ 個別プロジェクトにおいて、新たな工種、作業/プロセス危険源、が発生した場合などは「工事部門会議」等で審議(リスク評価)し、評価表に追記する。